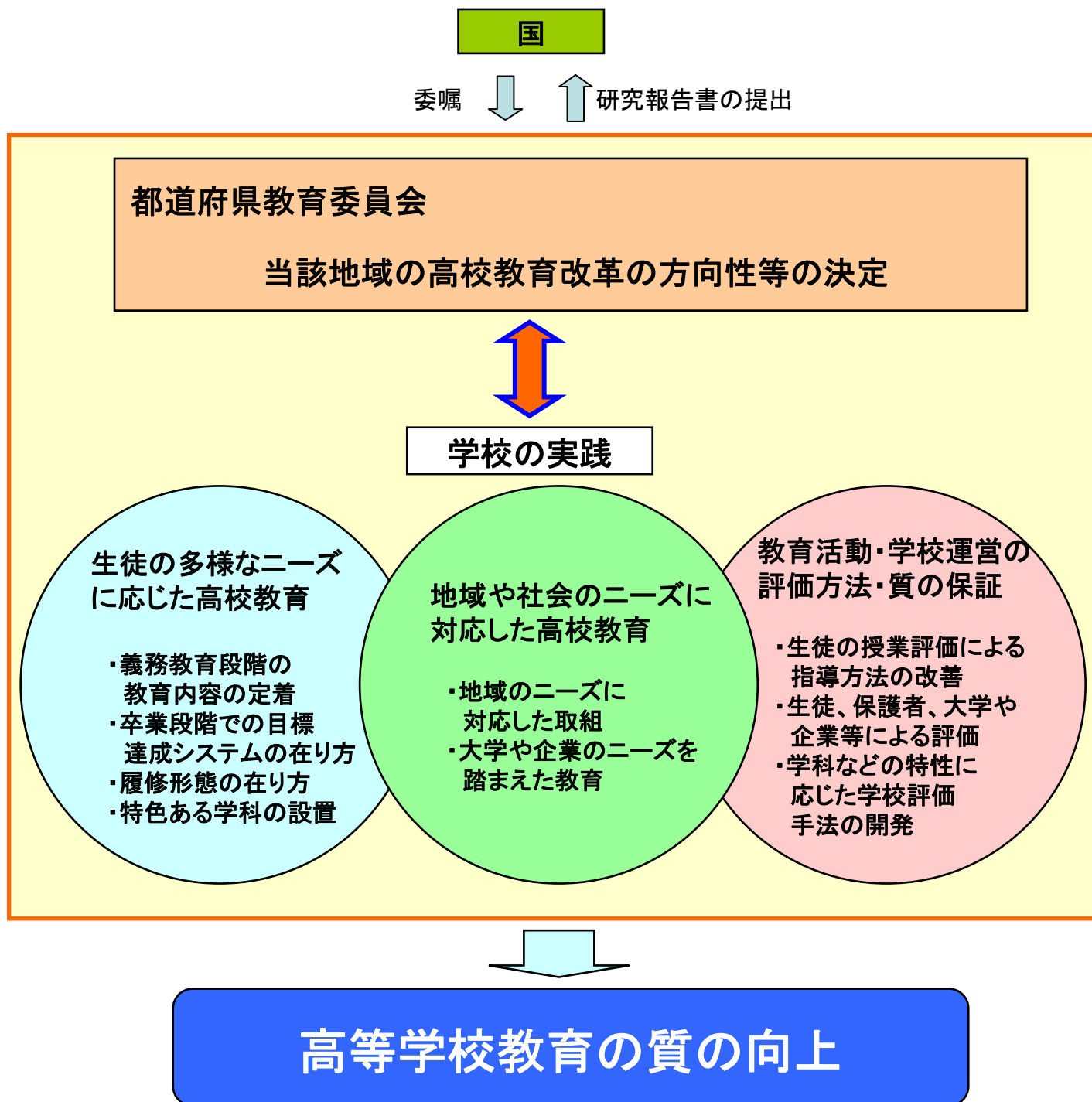


①事業名	【35】新時代に対応した高等学校教育改革推進事業等	
②主管課及び関係課(課長名)	(主管課) 初等中等教育局初等中等教育企画課 (課長: 徳久治彦)	
③施策目標及び達成目標	施策目標 2-6 地域住民に開かれた信頼される学校づくり 達成目標 2-6-6 生徒や保護者、地域、社会のニーズに対応した特色ある学校づくりのため、高等学校教育改革を推進する。	
④事業の概要	高等学校への進学率が97%を超え、生徒の能力・適性、興味・関心、進路等が多様化している。生徒の多様化の実態を踏まえ、生徒や保護者、地域、社会のニーズに対応した特色ある学校づくりのため、高等学校教育改革を推進する。そのため、当事業を都道府県教育委員会に委嘱し、特色ある学科の設置、中高一貫教育校の設置、柔軟な科目履修の在り方等について実践的な研究等を実施する。	
⑤予算額及び事業開始年度	・平成19年度概算要求額: 31百万円 (平成18年度予算額: 21百万円) ・事業開始年度: 平成16年度	
⑥広報計画	事業拡充に当たり、年度当初に、都道府県教育委員会に対して通知をするとともに、会議の場において周知していく。 また、当事業の展開に当たっては、ホームページ等で情報提供していく。	
⑦事業開始時において得ようとした効果	[拡充事業の場合のみ記入] 生徒が自己の興味・関心等に応じた学校を選択することが可能となるよう、中高一貫教育校が通学範囲の身近なところに数多く設置されるなど、特色ある学校づくりが進むことを予定。	
⑧得られた効果	[拡充事業の場合のみ記入] これまでの成果指標の推移は、 中高一貫教育校設置校数(H12 17校 → H15 118校 → H17 176校) であり、着実に中高一貫教育校の数が増加している。	
⑨得ようとする効果及び上位目標との関係	【得ようとする効果】	⑩達成年度
	・生徒の多様化の実態を踏まえ、生徒や保護者、地域、社会のニーズに対応した特色ある学校づくりを促進する。 【上位基本目標・達成目標との関係】 ・生徒の多様化の実態を踏まえ、生徒や保護者、地域、社会のニーズに対応した特色ある学校づくりをすることにより、生徒の個性の伸長等が図られるものと考えられる。	平成20年度
⑪必要性	達成目標2-6-6を達成させるためには、社会の変化や生徒の多様化の実態を踏まえ、生徒や保護者、地域、社会のニーズに対応した学校づくりが不可欠である。現在、社会構造は複雑となり、高等学校を取り巻く課題や高等学校に期待される役割も多様なものとなっている。このような変化に迅速に対応し、多様なニーズに応えていくためには、当事業を実施し、その成果を広く周知する必要がある。	
⑫効率性	特色ある学校づくりを推進するため、31百万円が想定される。また、研究成果を広く周知することにより、より一層特色ある学校づくりが進む。	
⑬想定できる代替手段との比較考量	各都道府県や各学校がそれぞれに高等学校教育改革に取り組むことが考えられるが、当事業を実施することにより、広くその成果が周知され、効率的に特色ある学校づくりが進むものと考えられる。	
⑭性	指標・参考指標	生徒や保護者、地域、社会のニーズへの対応状況 (参考指標) 中高一貫教育校数、総合学科数、単位制高等学校数
	効果の把握の仕方	「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業」施報告書や委嘱先へのアンケート結果等により把握
	得ようとする効果の達成見込み及びその判断根拠	生徒の多様化の実態を踏まえ、生徒や保護者、地域、社会のニーズに対応した特色ある学校づくりが進む。

⑮ 公平性、優先性	[政策の特性に応じて、必要により評価]
⑯ 評価に用いたデータ・情報 ・ 外部評価等	・ 高等学校教育改革研究協議会等の場を通じて、アンケート調査を実施し、当事業の研究成果を参考とした教育委員会数を把握する。
⑰ 備考	

新時代に対応した高等学校教育改革推進事業等

1. 新時代に対応した高等学校教育改革推進事業



2. 高等学校教育改革研究協議会等

・高等学校教育改革研究協議会

・高等学校教育改革調査研究